

日時
平成30年9月26日14時～
場所
くまもと県民交流館
パレア10 階会議室7

平成30年度くまもと県民カレッジリレー講座

アートとESDから考える夫婦の事件簿

講師 つなぎ美術館 主幹 学芸員 楠本 智郎 氏



アートとは？
芸術のことですが、今日の場合は

美術

ESDとは？
持続可能な開発のための教育です。
持続可能な社会を創造していくこと
を目指す、世界的に注目されて
いる学習や行動です。

本日の講座
タイトルの意味は？



ESD

は、Education for Sustainable Development の略です。

社会にはさまざまな
課題があります。

貧困・子ども
国際理解
エネルギー問題
生物多様性
気候変動・防災



解決するために
必要なことは
国際協力
技術革新
教育
市民活動
法律・規制

活動を支えるのは

学校
市民グループ
社会教育施設
企業
自治体

途上国の貧困が森林の無計画な伐採を招き、動植物の絶滅につながります。

世界で起きている問題は、つながっていることを知り、その
解決のために自分でできることは何かを考えやってみましょう。

ESD は、答えではなく問いかけです。思考を促し、行動を促します。

私たち一人一人が、地球規模で考え、地域で行動しましょう！

自分でできることは何？

例えば
フェアトレードで

開発途上国の生産者に公正な賃金や労働条件を保証した価格で商品
を購入して、途上国の自立や環境保全を支援することができます。

美術館の企画に何故、ESDなのか？

現代アートは、優れた才能と技術を持った作家（アーティスト）が、作品の制作理由（モチーフ）を持って作品を完成させます。作家の作品への思いはありますが、鑑賞する人と同じ思いを持ってほしいわけではなく、それぞれの感性で感じて欲しいと思っています。

ESD 同様、答えではなく問いかけで、思考を促しています。

ぼくのおくさん☆柴川敏之展

2018. 9. 8～11. 25

ゲストキュレーター 柴川弘子【ESD研究者】

キュレーターとは
博物館・美術館などの、
展覧会の企画・構成・運
営などをつかさどる専門職。
また、一般に、管理責任者。

夫
敏之氏

日常の見慣れた物を化石にすることで、2000年後の未来から
現在を俯瞰し、社会に潜在する問題を顕わにする現代美術家
家事も育児も一生懸命やっているつもりだが妻から評価されない

妻
弘子氏

岡山を拠点にESDの研究者として全国を奔走
育児家事介護が重なり、「夫の世話までやれない！」

イラッ！

イラッ！

プロジェクトは、妻の一言から始まった！

現代社会の
持続不可能性



「2000年後も良いけど、
自分の足下（家庭内）が
炎上しているわよ！」

夫婦の事件簿とは？

妻や、夫が
家庭で、日々の暮らしの中で感じる
葛藤や理不尽さ！

夫婦のパートナーシップを切り口に 社会の課題を考える

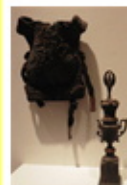


夫婦の問題は、ごくプライベートなこととして、男女差や習慣の違いな
どとして処理されがちですが、この違和感や葛藤をもっと広げて共有し
あうことで、持続可能な未来につながるのかもしれません。

理解しあえない相手と共に暮らし、
ケアし、いのちをつなぐ 共生

平和の構築

異文化理解



「IKUMEN 礼賛」抱っこひもとトロフィー
妻は早起きして朝食の準備、子どもに食べさせて
登園の支度をし、夫は遅く起きて保育園に子ども
を送って行くだけで、近所の人や保育園から「良
いお父さん、育メンですね！」と称賛される。



「きぼう」

家族の中心、
息子の姿に似た
キュービー人形



「そこに置かれて」靴下
床に散乱した夫の靴下を拾い歩き
憤る妻。夫は置いているだけと言う。
「今やろうと思っていたのに……」



「パンドラの箱」

妻は余裕がなくなると、アート作品が無
価値なゴミのように
見えてくる。

「夫婦の事件簿」は多くの人から集まっています。

夫「すぐやるよ」
夫「8割がた済んでるよ」
夫「できたよ」

妻「さっさとやって！」
妻「済んでるのは2割です！」
妻「できてないし……」

食器洗い・洗濯など色々な場面で露呈する違い。
夫が被害者のケースもあります。

女性に大うけ！

夫婦あるある

くまもと県民カレッジ広報ボランティアC・M作成